

2027 年度修士デュアルディグリープログラム 募集要項

2026.9.16

国際センター

本学大学院生（学士・修士 5 年プログラム生を含む）を対象に、ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院(SOAS) MA Translation and Intercultural Studies とのデュアルディグリープログラムへの参加学生を募集します。

本プログラムは、本学とロンドン大学アジア・アフリカ研究学院の双方の正規の修士課程学生として在籍し、両大学の学位論文審査に合格し、単位取得など、両大学が定める修了要件を満たすことで、それぞれの大学から学位が授与されます。

1. 出願資格

- ① 出願時に学士・修士 5 年プログラム生である、または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること。
- ② 本学の学業成績が原則として総合 GPA 2.8 以上かつ志願先大学の GPA 条件を満たしていること。
- ③ 志願先大学の要求する語学能力を有していること。
- ④ 十分な資金の準備ができること。
- ⑤ 異文化適応能力があり、心身の健康状態が良好であること。
- ⑥ すでにデュアルディグリープログラム学内選考試験に合格している学生、あるいは合格後辞退した学生でないこと。

2. 出願書類

- ① 2027 年度デュアルディグリープログラム出願フォーム

<https://forms.gle/EbrRi9HgAgJGcjEf9>

※大学のアカウントへのログインが必要です

【②～③は①の出願フォームからアップロードをして提出すること】

- ② 志願先大学が要求する語学スコアのコピー
- ③ 最新の成績通知書

※ 大学院生は学部の成績通知書または成績証明書のコピーも提出すること。

※ 編入生は本学入学前に在籍していた大学等の成績通知書または成績証明書も提出すること。

【④は指導教員から国際センターにメール添付(PDF)、窓口持参のいずれかで提出いただくこと】

- ③ セミナー指導教員による志願者評価書（所定様式）

※ 1 ターム/学期以上の指導歴のある教員に依頼すること

（注意）

- 書類はすべて A4 サイズでアップロードすること。

➤ IELTS のスコアについて：

- 過去 2 年以内に受験した際のスコアを提出すること。
- IELTS は Academic Module を受験すること。
- インターネット画面上のスコアを提出する場合、スコアの原本が届き次第、スコア原本のコピーを国際センターに提出すること。
- 学内選考試験に合格後、志願先大学へ出願するまでにスコアの有効期限が切れる場合には、試験を受けなおした上で、条件を満たすスコアを取得すること。

➤ 面接順発表後の面接順変更依頼は不可とする。

➤ 提出された書類は返却しない。

3. 出願締切

2026 年 10 月 15 日（木）15：00 厳守

提出方法は前掲の「2. 出願書類」を参照すること

4. 選考日程について

ウェブサイト上の掲載を参照すること。

6. その他留意事項

- ① 本選考試験合格者は本学よりデュアルディグリープログラム候補生として志願先大学に推薦されます。なお、**本選考合格後は辞退できません。** 推薦された後、各自で志願先大学に出願し、審査の結果、正式な受入許可が下りた場合にデュアルディグリープログラムへの参加資格を得ます。**(本選考試験合格＝志願先大学への留学確定、ではありません。)**
- ② 志願先大学に出願する段階で、要求されている GPA および語学スコアを満たしていない場合は、プログラムへ参加できません。(本選考試験合格後も志願先大学の出願要件を満たす状態を維持する必要があります。なお、派遣学生選考後に協定校が受け入れ条件を変更する場合があります。)
- ③ 留学期間（留学開始日および終了日）は志願先大学の決定により変更される可能性があります。
- ④ 定められた留学期間を個人の理由により変更することはできません。
- ⑤ 留学終了後は本学に戻り学業を再開してください。
- ⑥ 出発日から帰国日までを保険期間とする海外旅行傷害保険に渡航前に必ず加入してください。
- ⑦ 外務省海外安全ホームページによる「危険情報」または「感染症危険情報」がレベル 2 以上の国・地域への学生派遣は行いません。

英国

全研究科対象

School of Oriental and African Studies (SOAS) University of London

ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院

<https://www.soas.ac.uk/>

英国ロンドン大学SOAS(School of Oriental and African Studies, アジア・アフリカ研究学院)は、アジア、アフリカ、中東を主な研究対象とする英国名門大学で、複数のカレッジを持つロンドン大学に属しています。

2023年の分野別QS World Ranking では、開発学で世界2位、人類学世界12位(英国内5位)、政治学は世界17位(英国5位)、メディア&コミュニケーション分野では英国内16位など、英国のみならず世界で高い評価を受けているリサーチ大学です。

多くの国から留学生を受け入れており、学生数の約半数は留学生です。日本研究も盛んで、日本の多くの大学と協定を結んでいます。昨年本学とも学生交流協定を締結し、世界トップレベルの大学で学べる機会が広がりました。

大英博物館のすぐ近くという立地で、学生はロンドンの中心地で生活することになります。

大学概要	
所在地	英国、イングランド、ロンドン
創立年	1916年
協定締結	2023年9月
学生数	学部生 約3,400 人、大学院生 約2,800 人
学期	セメスター制(秋学期: 9月下旬～1月中旬、春学期: 1月下旬～5月下旬、夏季論文作成(執筆)期間: 5月下旬～9月下旬)
寮	キャンパス外の学生寮かアパート等への滞在となる。
学問分野	https://www.soas.ac.uk/study/find-course/ma-translation-and-intercultural-studies



募集内容および出願資格			
募集人数	5人	留学期間	2027年9月～2028年9月
募集枠	デュアルディグリー・プログラム(MA Translation and Intercultural Studies) https://www.soas.ac.uk/study/find-course/ma-translation-and-intercultural-studies	対象	全研究科(修士課程)※学士・修士5年プログラム生を含む
学費の減免	留学先: 自己負担(2026年度: ￡25,320) ※授業料が2割引きとなる 本学: 在籍料相当額(年額20万円)に減免	寮舎費・食費	自己負担(寮あり)
所要経費(年額)	約800万円 (奨学金を受給した場合、一部費用に充てることができます)	授業の言語	英語
出願資格	1 出願時に学士・修士5年プログラム生である、または大学院修士課程に在学しており、出願時から留学期間終了時まで在学中であること。 2 本学の学業成績が通算GPA 2.8以上であること。 3 IELTS 6.5(各セクション6.0)以上のスコアを保持していること。		
注意等	・ビザ申請の際にHome OfficeからSELTの証明を求められる可能性があるため、SOASはIELTS for UKVIの取得を勧めている。		